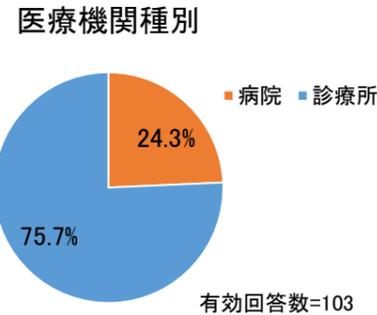
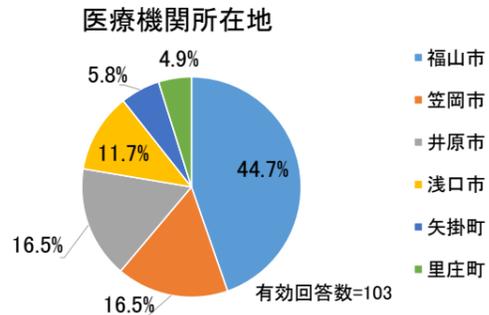


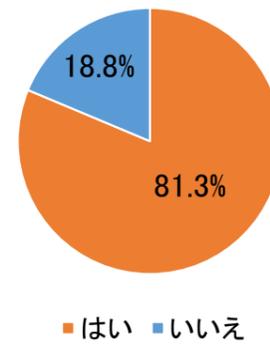
1. アンケート回答医療機関所在地



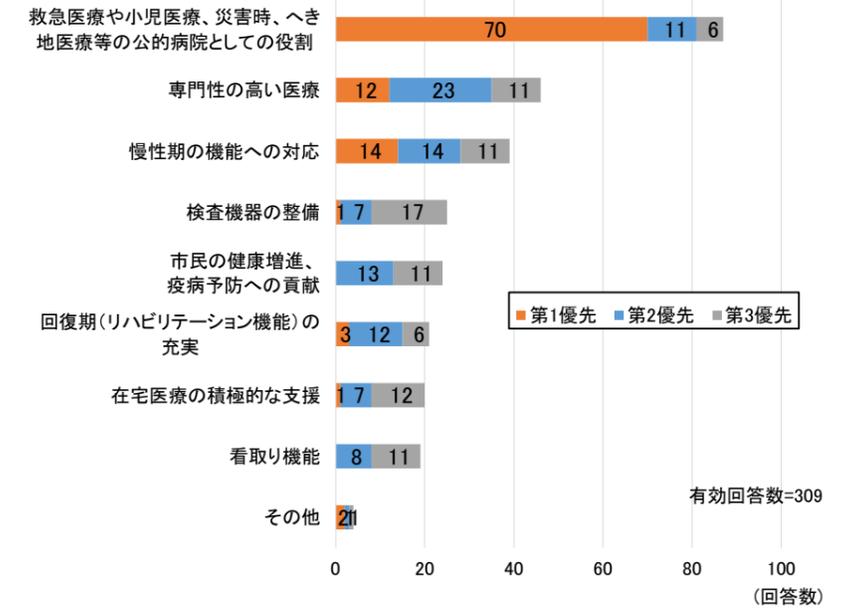
No.	市町村	送付数			回収数			市別回収率(%)	回収率(%)
		病院	診療	合計	病院	診療	合計		
1	笠岡市	4	22	26	2	15	17	65.4	11.6
2	井原市	3	18	21	3	14	17	81.0	11.6
3	浅口市	2	15	17	2	10	12	70.6	8.2
4	里庄町	1	4	5	1	4	5	100.0	3.4
5	矢掛町	2	6	8	1	5	6	75.0	4.1
6	福山市	23	47	70	14	32	46	65.7	31.3
	合計	35	112	147	23	80	103		70.1

2. アンケート集計結果

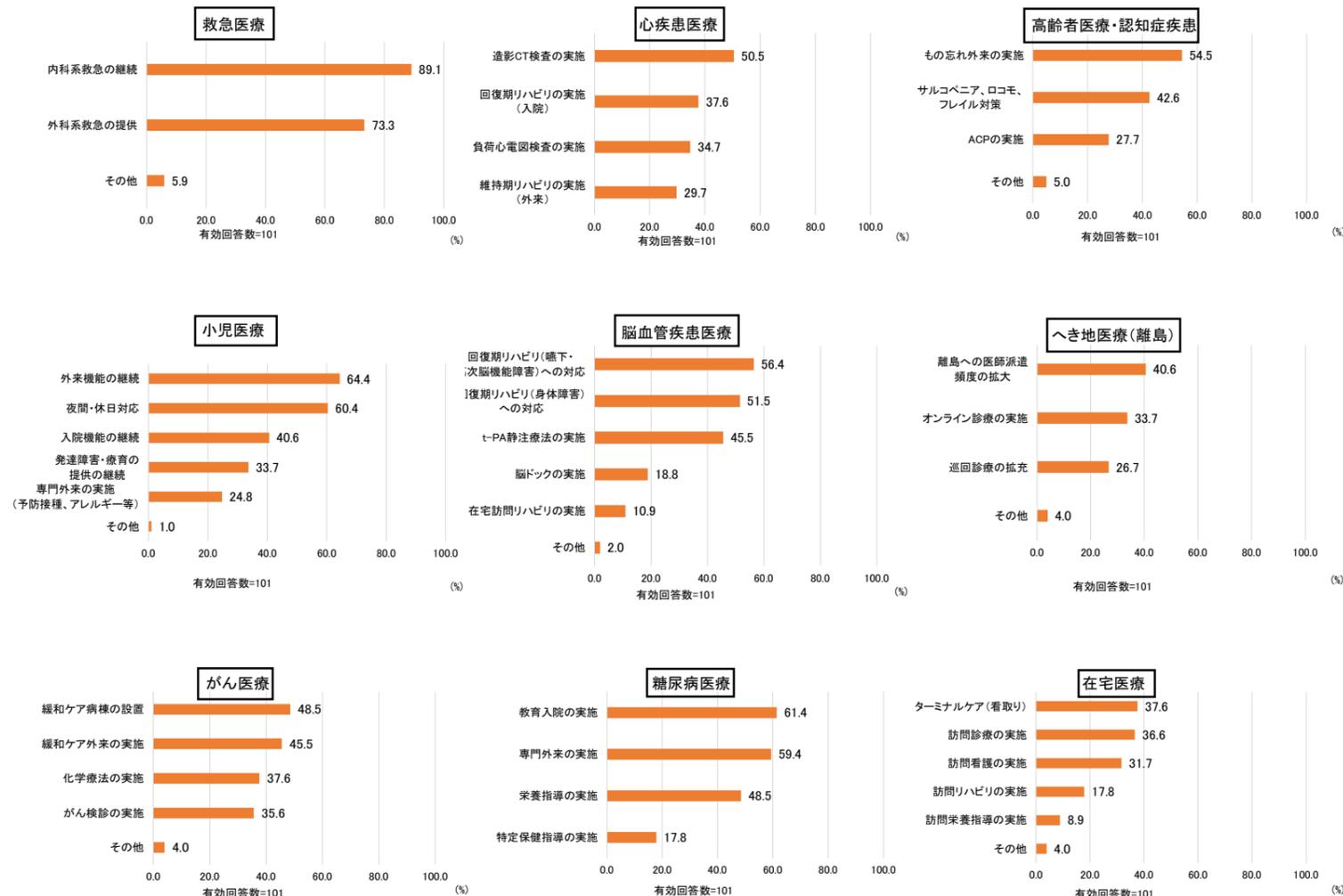
笠岡市立市民病院は必要か



充実してほしい医療・患者サービス



3. 新病院に求める機能性



区分	所在地	内容
救急	笠岡市	外科系急性期医療 救急医療。制度的には難しいが(療養型に制限) 長期療養をどう考えるか 外科救急(骨折も含む)対応:ただ市民病院が今後対応していくことは無理。 循環器、脳血管の急性期:福山、倉敷の病院に依頼するしかない 救急医療、がん診療体制
	井原市	夜間の救急医療こそ公的病院の果たすべき役割なのではないでしょうか。 救急診療、専門医療 救急医療体制
	里庄町	外科の不足 夜間の救急受け入れ 救急や小児、婦人科(産科)を充実させるにはマンパワーが不足していると思います。
	福山市	夜間救急 小児科 救急医療(夜間等) 夜間や休日の救急外来(内科・外科・小児)
医療体制・機能	井原市	休日の医療体制とバックアップが不十分 小児科医療。特に休日、夜間の診療
	浅口市	癌末期に対する治療と在宅療養支援(バックアップ機能)が欲しいです。在宅で末期がん患者をみる際にいつも悩む点です。
	矢掛町	地域のハブ機能とリハビリ機能の充実を 紹介患者の受け入れ体制
	福山市	回復期リハビリ病棟、緩和ケア、人工透析 回復期、療養の機能が不足していると思われます。 地域包括ケア病棟機能(ポストアキュート、サブアキュートなど) プライマリケア、在宅医療で開業医を補完する機能 圏域にある医療機関の連携(県境をまたぐ連携)。難病や医療依存度の高い患者の転院を含んだ連携 地域住民のニーズに応えるきめ細やかな医療(高齢者)

5. その他自由記述より抜粋

所在地	内容
笠岡市	①医師確保は今後も困難(慢性期患者の入院ベッドの確保、外来は内科、整形、小児科、ただ夜間の内科系疾患の救急対応はなんとか確保してほしい。) ②膨大な累積赤字を考えると施設、設備の充実は無理(第一病院との棲み分けを考えるべき) ③人口減少してゆくなかで笠岡市内の病院の集約必要。 外科系救急への対応 地域包括ケア病床の継続など地域に根ざした医療機関であってほしい。 地域包括ケア病棟機能、プライマリケア、在宅医療等の機能を持った病院を整備していただきたい。 民間で対応しきれない市と関連が必要となるような困難事例(生活保護や恵風荘等)については受け入れてほしい
福山市	夜間救急を充実させていただきたいです。 交通の便等が良く、市民が利用しやすいと考えます。地域に不足する機能を補完し二次救急に力を入れて高次医療につなぐ流れが整備されると市民の安心につながると考えます。
浅口市	周辺に笠岡第一病院という類似した規模と診療科内容の病院があるため少し特色を出さないと難しいのではないのでしょうか。 一般医療機関で十分でない社会的弱者に対する支援の強化
井原市	紹介しやすい病院であってほしい。
矢掛町	紹介しやすい体制、病診連携の充実